



① 国立駅周辺整備事業の全体計画

- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します
- ・なお、歩道整備にはユニバーサルデザイン*を取り入れ、だれもが安全・安心に通行できるようにします。これにより、にぎわいのある広くて快適な歩行空間が整備されます

*ユニバーサルデザイン：しょうがいや年齢などにかかわらず多様な人々が利用しやすいように、生活環境などをデザインすること。

・国立駅南口第1自転車駐車を西側に移設し、拡充整備します

※整備後、既設駐輪場は撤去します

・民間活力を導入して国立駅南口複合公共施設を整備します

北口での広場空間の確保

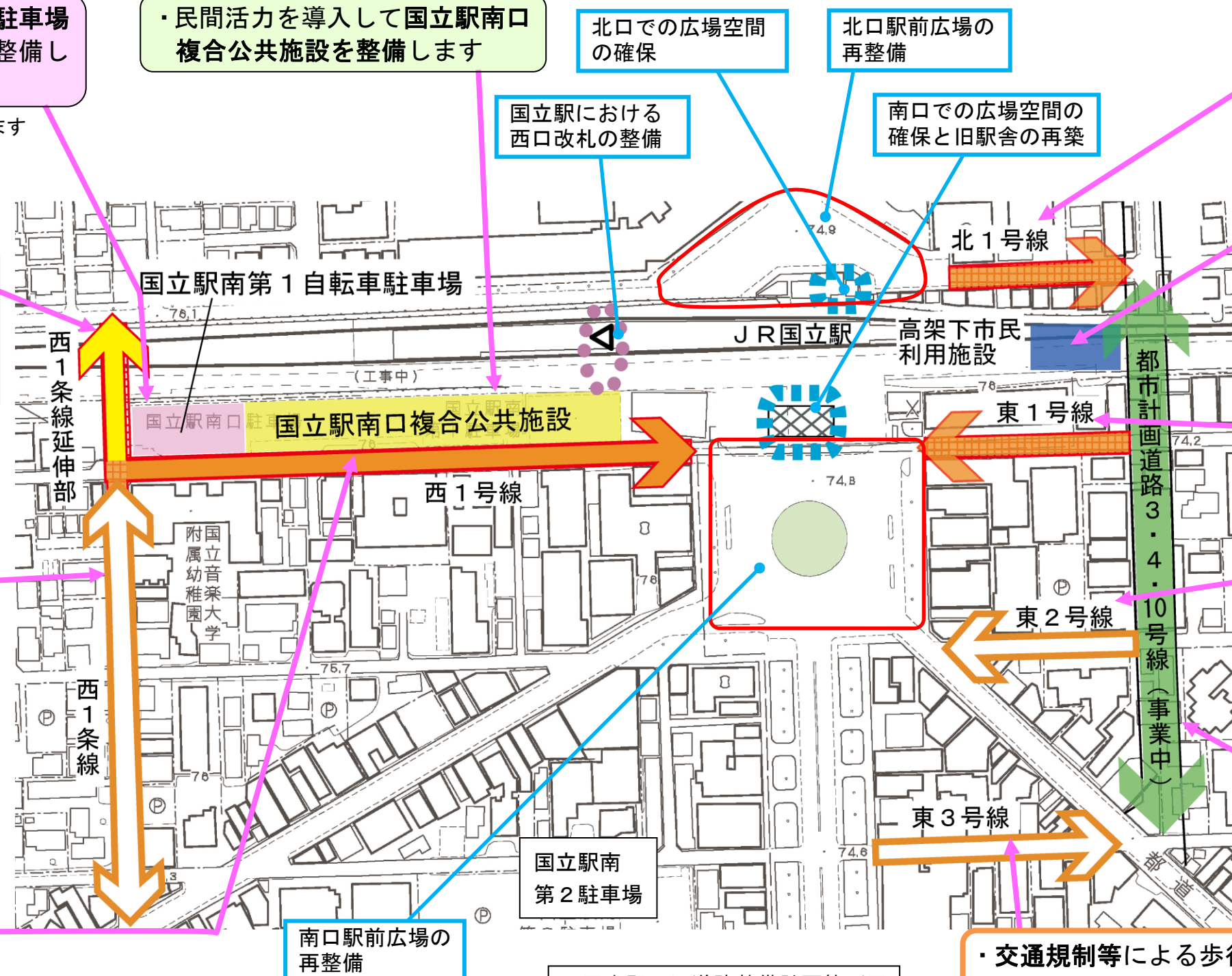
北口駅前広場の再整備

・相互通行を東向き一方通行化することにより、通過車両を低減し、歩道を拡幅します

・新たに北向き一方通行で開通し、交通の分散を図ります
・歩行者・自転車が通行可能となるように暫定開放します

・西1条線は、歩道をバリアフリー化することにより、歩きやすい道路とします

・歩道を拡幅し、歩きやすい道路とします



国立駅における西口改札の整備

南口での広場空間の確保と旧駅舎の再築

・高架下利用により行政サービス施設、会議室などを整備し、住民票の発行や図書の貸出・返却などを行います

・相互通行を西向き一方通行化することにより、通過車両を低減し、歩道を拡幅します

・東向き一方通行を、西向き一方通行化することにより、通過車両を低減します

※一方通行化には、沿道住民の同意が必要になります

・南北の通過交通の円滑化を図り、街路樹による緑の景観や、歩行者・自転車が快適に通行できる空間を整備します

・交通規制等による歩行空間の改善を図ります

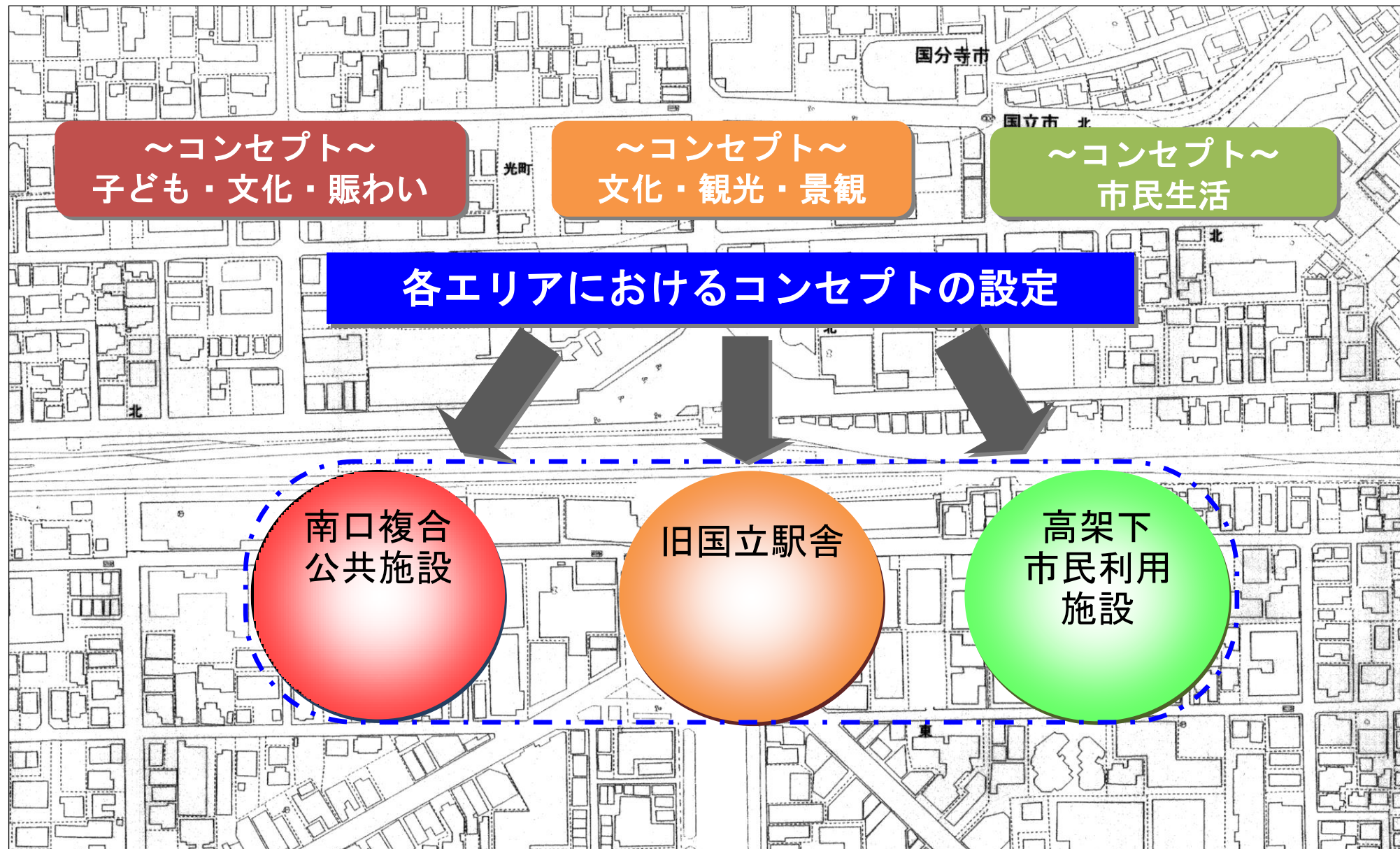
▲国立駅周辺道路整備計画箇所図



② 国立駅周辺施設の整備コンセプト

～まちづくりの理念～

「人」はまちづくりのかなめであり、人と人がつながっていくことでまちも元気になっていきます。みんなで作る国立駅周辺の空間が、暮らし（市民生活）や文化をはぐくみ、人びとの力（賑わい・観光・子ども）を生み出し、美しい景観を創造していきます。



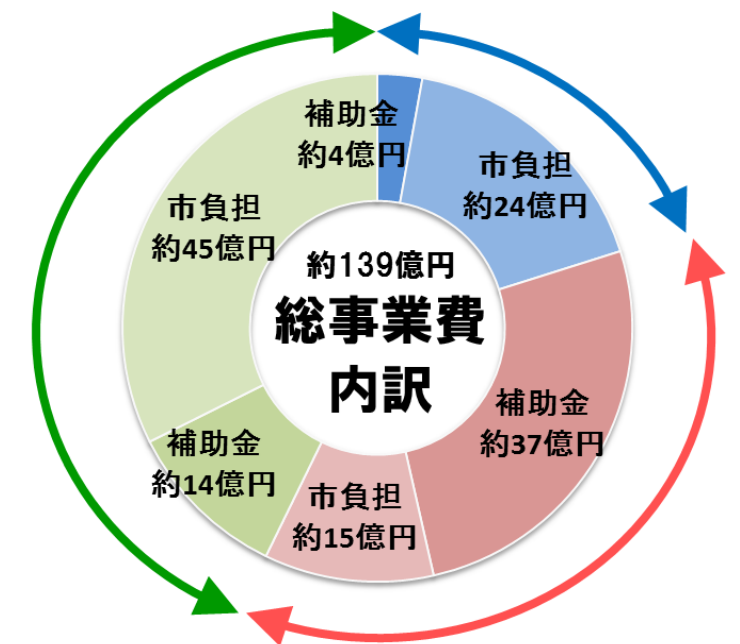
■ 国立駅周辺整備事業の事業費

◆ 国立駅周辺の整備

- ・南口・北口駅前広場、高架下、旧国立駅舎再築、駐輪場、道路整備
- ・・・約 59 億円

◆ 公社用地取得

- ・国立駅南口複合施設用地取得、西1号線などの用地取得
- ・・・約 28 億円



◆ 都市計画道路の整備

- ・3・4・10号線道路整備（南・北工区）
- ・・・約 52 億円

※事業費は、用地費、調査・設計費、工事費の総額として算出しています。



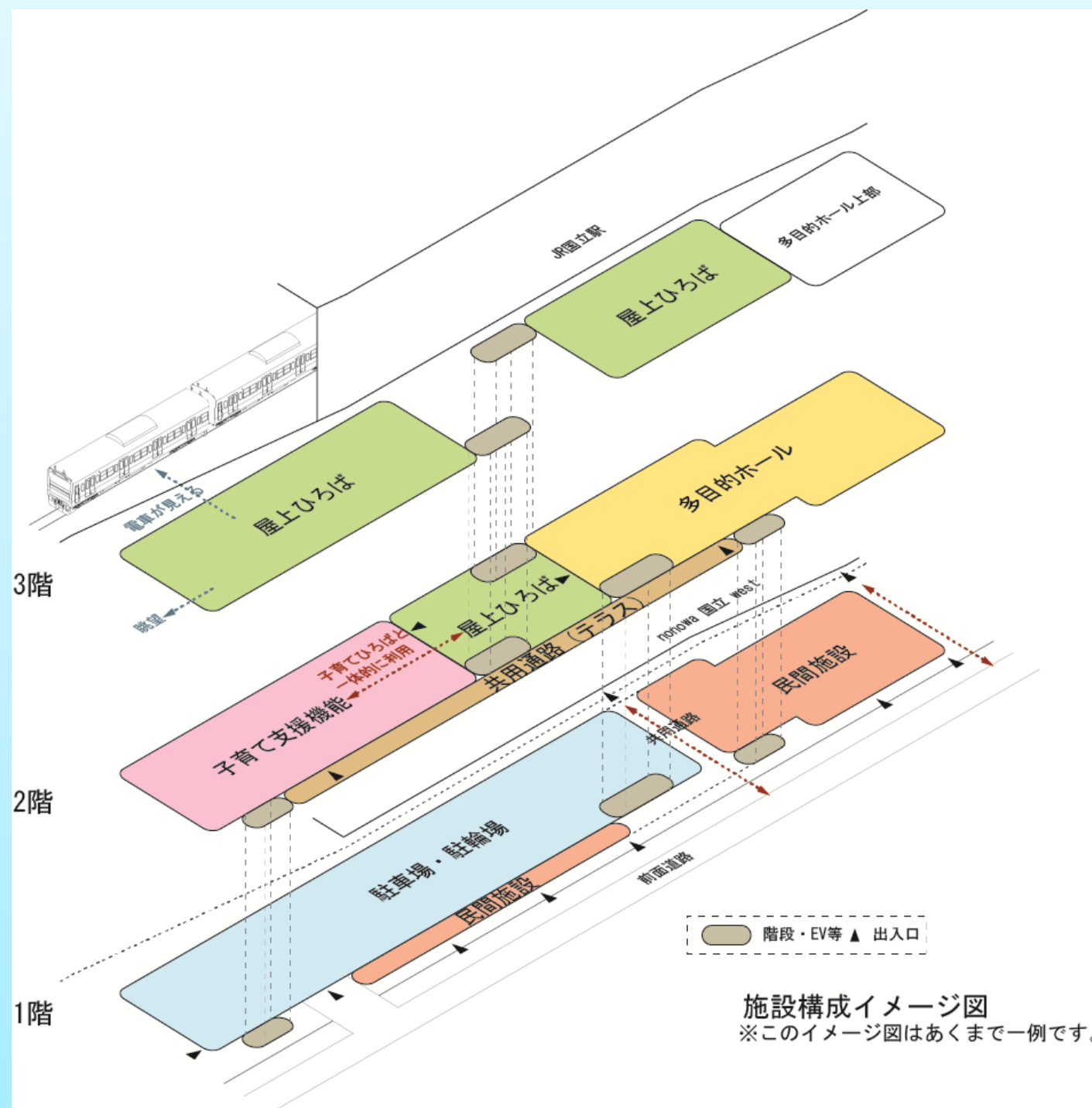
③ 各施設の機能の考え方

国立駅周辺に望まれる 公共施設	導入する 施設・機能	整備場所 (※)	理由・説明
駐輪場	駐輪場	●複合	南口複合公共施設の附置義務分を整備する。
駐車場	駐車場	●複合	南口公共施設等用地の既存駐車場の台数分に加え、南口複合公共施設の利用者用の必要台数分を整備する。
図書館	図書の貸出・返却	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに併設し、図書の貸出・返却機能に特化して実施する。
	絵本の部屋	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、子ども向けの絵本等に特化した絵本の部屋を設置する。
市役所出張所	市民サービスコーナー	●高架下	住民票等が取得できる市民サービスコーナーを高架下市民利用施設に整備し、市民の利便性の向上を図る。
	女性等相談	●高架下	女性等を対象とした相談事業の実施と、より一層の啓発活動を行う施設を整備する。
公園・緑地・緑	子育てひろば	●複合	子どもが安全に遊べ、親子の交流ができる子育てひろばを整備する。 緑地・緑については、民間事業者による屋上緑化等の整備を誘導していく。
保育園・幼稚園・託児所	一時保育	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、一時保育機能を付与し、国立駅周辺を利用する子育て世代を支援する。
トイレ	トイレ	●複合 ●高架下	市民向けのトイレを整備する。
ギャラリー・美術館 ホール・イベント会場	多目的ホール	●複合	文化・芸術の充実と発信を行う文教都市にふさわしい施設を整備する。
	展示ギャラリー	●旧駅舎 ●高架下	市の文化・歴史等について発信するスペースを整備する。
待ち合わせ場所 ベンチ・休憩スペース	オープンスペース	●旧駅舎 ●高架下	市民や来訪者が交流でき、気軽に憩えるスペースを整備する。
会議室	会議室	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに付随した会議室を整備する。
観光案内所	観光案内所	●旧駅舎	市民や来訪者に市の魅力等を発信する。

※整備場所 ●複合：南口複合公共施設 ●旧駅舎：旧国立駅舎 ●高架下：高架下市民利用施設



④ 南口複合公共施設（施設構成イメージ）



- ・低層階には導入予定の公共機能との相乗効果が期待できる民間施設を配置します。
- ・駐車場は、駅周辺の駐車需要や本施設の利用者のために必要な台数を考慮し、適切に配置します。
- ・壁面後退等により歩行者空間を創出し、駅周辺の回遊性の向上を図ります。
- ・低層、緑化、自然エネルギーの活用等による国立らしく、文教都市にふさわしい景観・環境に配慮した施設を誘導します。

※民間施設をはじめとして、施設配置については、民間事業者からの今後の提案によるものとなります。

左記の施設構成イメージ図は仮の図であり、決定したものではありません。



⑤南口複合公共施設（整備イメージ）





⑥ 南口複合公共施設（公共施設部分）

■子育てひろば



（注意）写真はイメージであり実際にできる施設とは限りません。

■多目的ホール



（注意）写真はイメージであり実際にできる施設とは限りません。

7 旧国立駅舎の再築計画

◆旧国立駅舎の活用方針

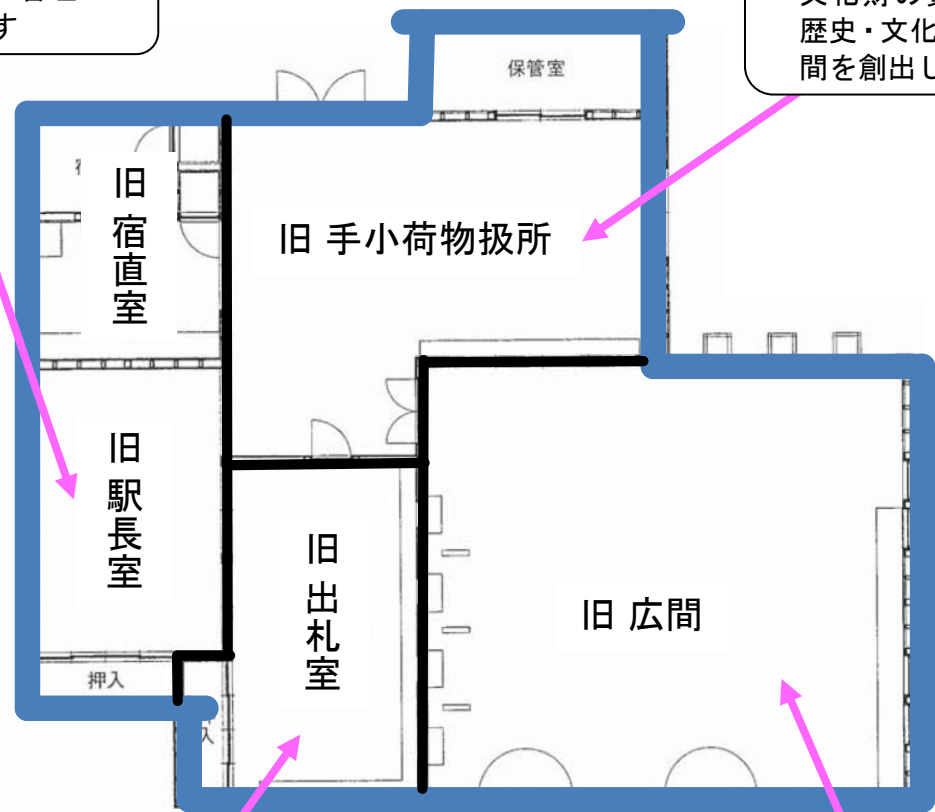
- ・文化財として国立市の歴史などの展示を行うなど、市の情報発信施設として活用します

◆新管理スペース

- ・施設を管理する職員の事務室など、管理スペースとします

◆新展示スペース

- ・旧国立駅舎の部材や市内の文化財の資料展示を行い歴史・文化に触れられる空間を創出します



◆新観光案内所

- ・旧国立駅舎だけでなく、市内にある観光施設情報や地元特産品の案内を行い、国立市の魅力を発信します

◆新多目的スペース

- ・待合所としてだけでなく、壁画には昔の旧国立駅舎の写真や絵画を展示し、国立市の歴史に触れる空間を創出します
- ・また、来訪者が情報交流できる憩いの空間を提供します

～解体された経緯と保存～

- ・旧国立駅舎は都内有数の歴史ある駅舎であり、国立市のシンボルとされていました。しかし、平成18年に中央線連続立体交差事業の影響により解体を余儀なくされ、多くの市民に見守られ、また、惜しまれながら解体されました。解体された旧国立駅舎の部材については国立市内の保管庫で大切に保管しています。

◆再築の位置

- ・市のシンボルとして旧国立駅舎を南口駅前広場に面するほぼ元の位置に再築し、大学通りからの景観を回復します

▼大学通りから見た旧駅舎の展望イメージ



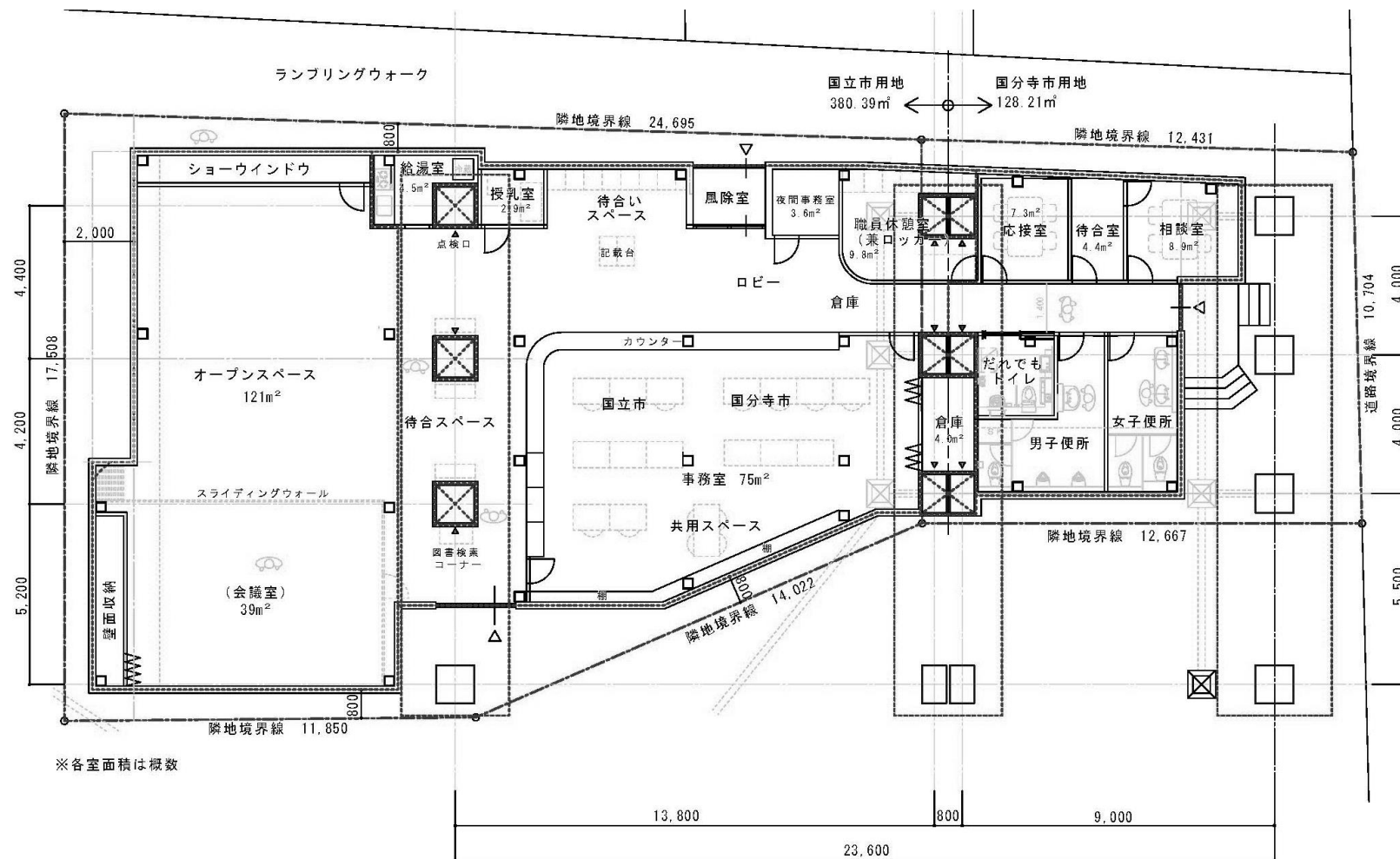
▼JR高架(南北自由通路上部)から見た旧駅舎の展望イメージ





⑧ 高架下市民利用施設計画（案）

高架下市民利用施設レイアウト図



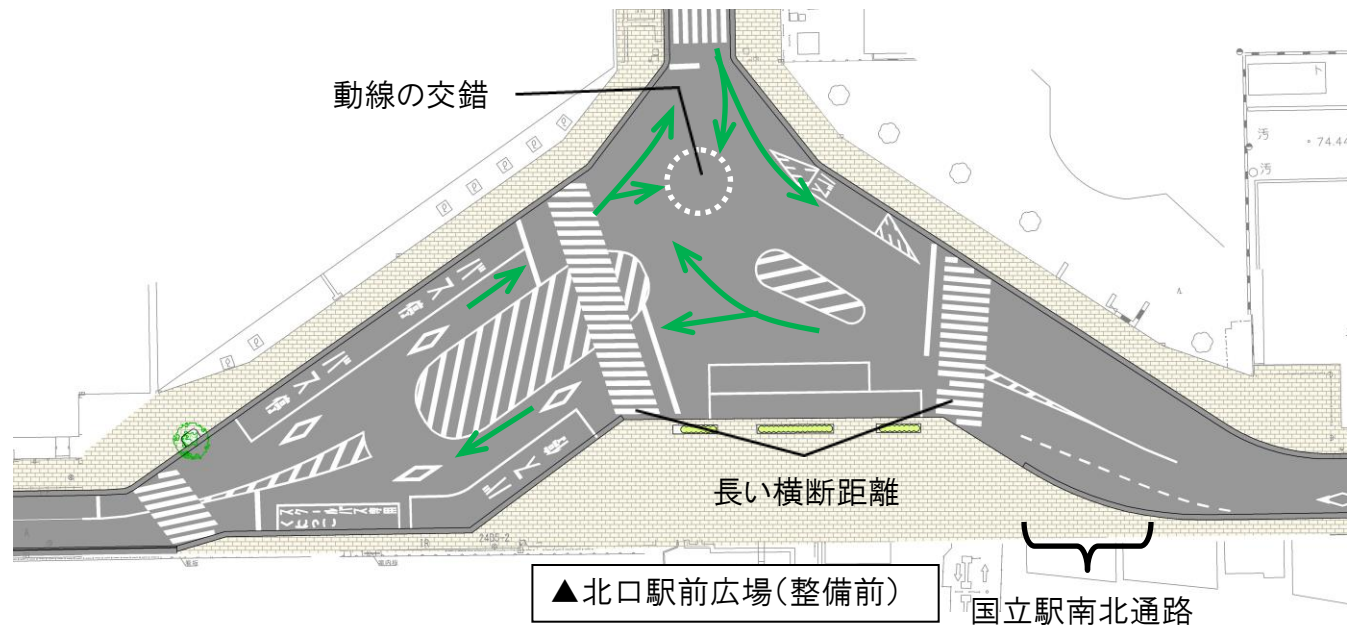
完成イメージ図（北側から見た図）

※本図は平成 28 年 4 月 14 日に国立市と国分寺市が締結した基本協定書のレイアウト図です。協議中のものであり変更になる可能性があります。

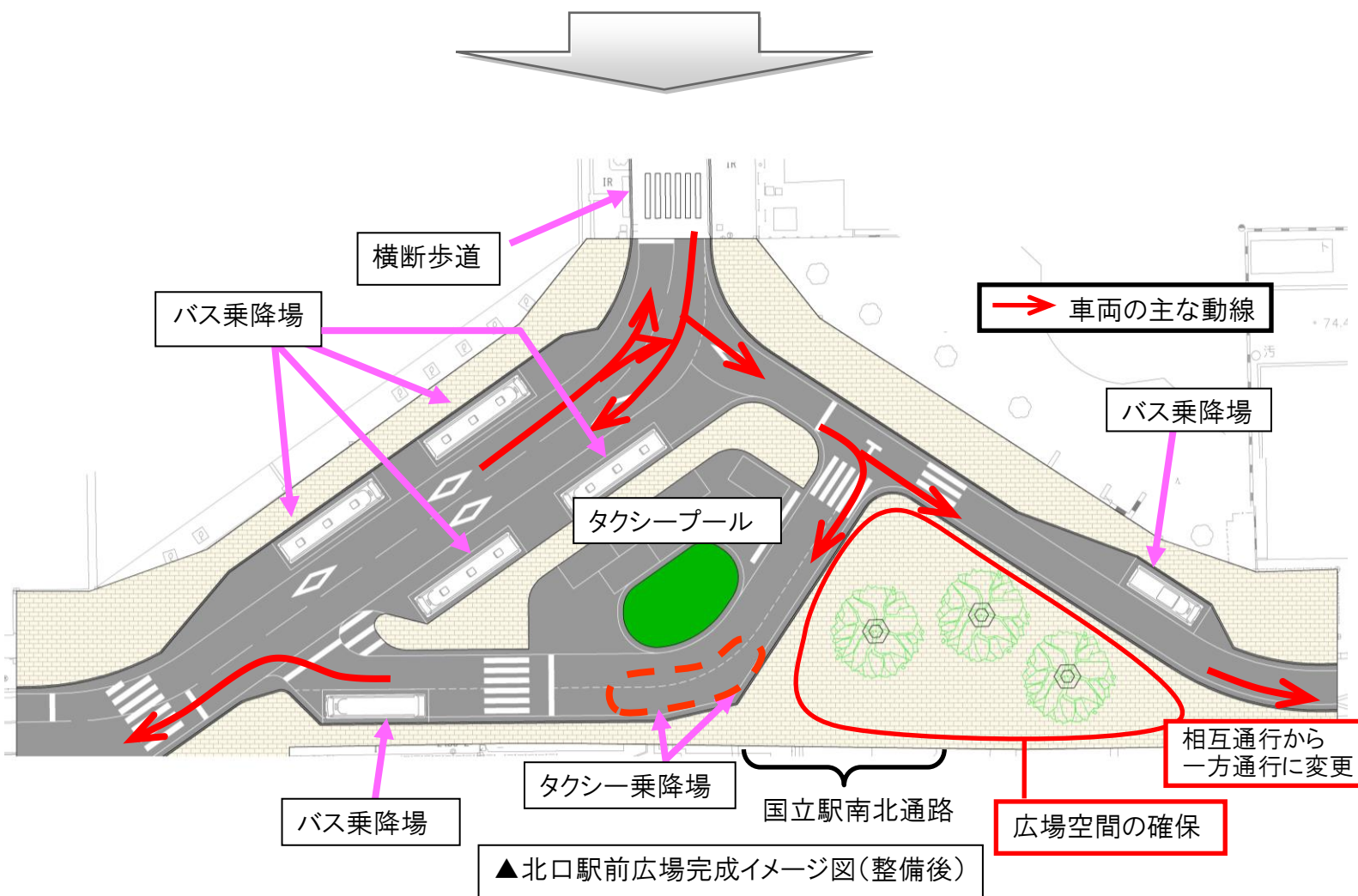




⑨ 北口駅前広場の整備計画（案）



- ・南北通路北側に広場空間を設け、南口・北口駅前広場の一体的な活用を図ります
- ・広場空間を整備することにより、“くにたちらしい新たなにぎわい”を創出します
- ・歩行者の横断距離を短くして、安全性を高めます
- ・バスの間隔、横断歩道からの離隔を十分に確保し、また、動線交錯を減らすなどして、車も安全に通行しやすいように整備します





10 南口駅前広場の整備計画（案）

◆基本的な考え方

ロータリーとしての交通体系を維持したまま、歩行者空間を拡充します

◆旧国立駅舎の再築

- 旧国立駅舎は、駅利用者の歩行動線の確保のため、南、西側に以前の位置よりそれぞれ約4.7m、3.7m移した位置に再築します

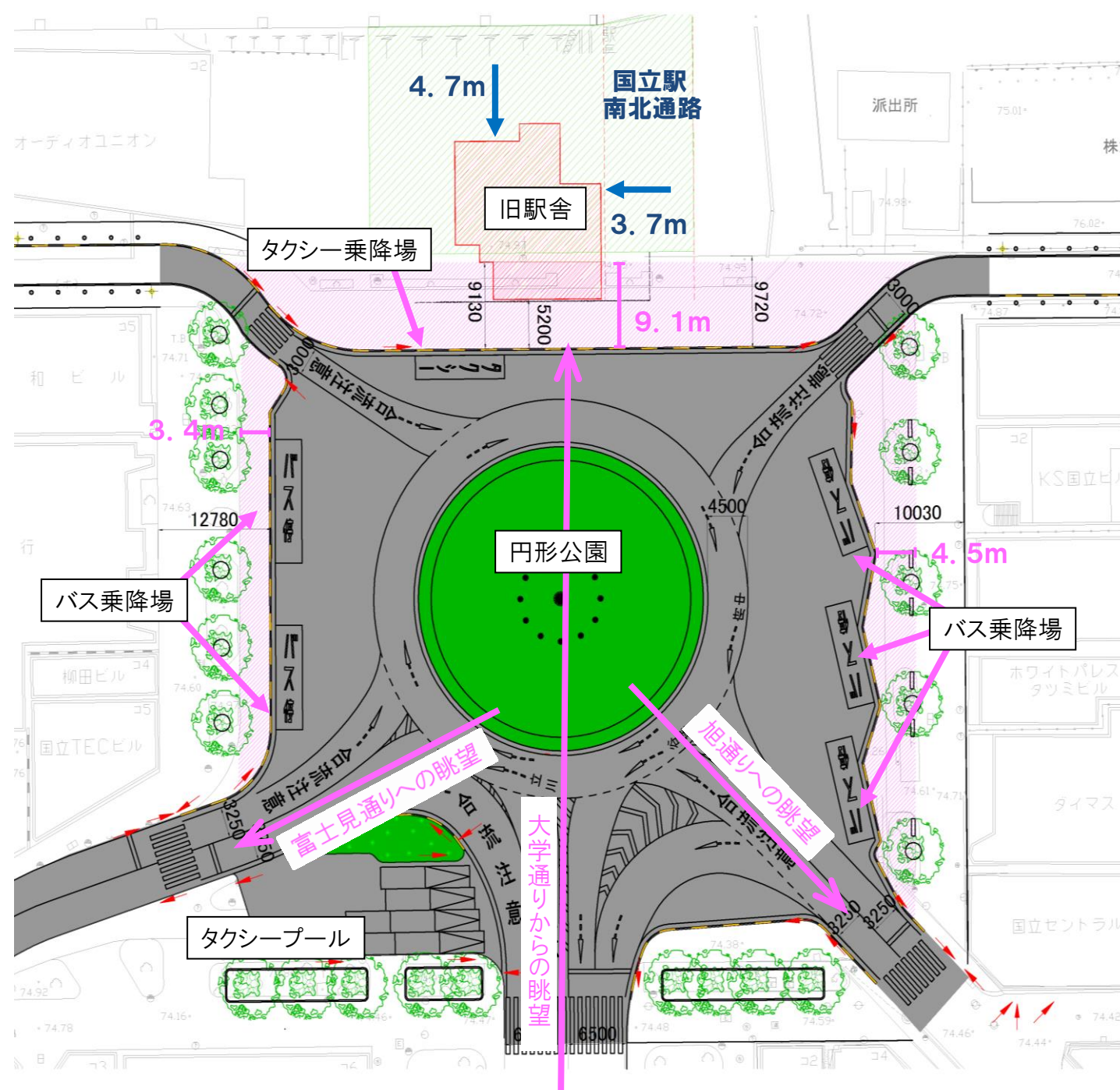
◆駅前広場の形状

- 大学通り、旭通り、富士見通りの3路線の要となる駅前広場に面して旧国立駅舎を再築することにより、くにたち草創期からの歴史的な配置を回復します

◆円形公園の再整備

- 交通管理者および交通事業者の協力は必要となりますが、将来は非日常的に円形公園も活用したイベントを行い、市民の皆さまにとって憩いの場となる水と緑の空間として再整備します

▼南口駅前広場完成イメージ図



◆歩行空間の考え方

- 北、東、西側にそれぞれ約9.1m、4.5m、3.4m歩道空間を拡幅するとともに、バリアフリー化を図り、安全性を高めます

◆駅前広場の形状

- 大学通りを中心とした左右対称のロータリーなど、くにたちのまちづくりの歴史を継承した広場とします

◆駅前機能の考え方

- 現在の交通体系を維持したまま、歩行者空間を拡大し、だれもが安心して通行できる空間を創出します

※交通管理者協議により、タクシー乗降場の配置など内容が変更になる可能性があります。